

## プログラム解説と今後の『有機農業の原点を考え次世代に繋ぐセミナー』

1回から12回開催予定

**第一部 16:00-16:50 講演：なぜ有機農業を始めたかー水俣、有機農業、そして福島ー**  
魚住道郎（日本有機農業研究会副理事長／有機農業生産者）

魚住道郎氏が有機農業の道へ進むきっかけは水俣病問題にあった。その後茨城で有機農業を継続してきたが、2011年3月11日東日本大震災に誘発された福島第一原発事故で放出された放射能は彼の畑にも降り注いだ。長年続けてきた「提携」による消費者や生活協同組合と協力しながら、被災地の支援を行うとともに、徹底的に被災地、自家農園の土壌と野菜の放射能分析を行い、腐植、バクテリアの多い土壌ほど土がセシウムを抱え込み、野菜に移行する割合が少ないことを明らかにした。この取り組みと結果の公表は多くの有機農業者に勇気を与えた。彼は言う、「祖先から受け継いできた命の基盤である森・里・海を、私たち日本人は、戦後の工業化・都市化、化学物質偏重の農業等によって荒廃させ、いためつけてしまった。東日本大震災・福島第一原発事故から4年を経た今、「腐食がつなぐ森・里・海の流域自給そして自給農緑（園）を有機農業運動の根幹に据えることが求められている」と。

**第二部 17:00-17:55**

「水俣の甘夏」上映 ・1984年/日本/55分・監督：小池征人・制作：青林舎



水俣の公害は、チッソ樹の排水によって水俣湾の水銀汚染をまねき、漁師から海を奪った。海を奪われた人々が、山に上がり甘夏ミカン作りに取り組む中で、「自分たち被害者は加害者にならない」と、7年かけて農薬の撒布を、農協指導の年

18回から3回に抑えていく。畑に生き物が戻り、土が生き返っていった。しかし、予想外の事件が。一部の人が除草剤を散布したのだ。話し合いを重ね、苦悩の数ヶ月を過ごす。彼らは「何一つ公開しなかったチッソと同じことをやれない」「何でもありのままに出そう」との結論に。そして除草剤を散布した仲間を、受け入れる。

### 第三部 18:10—18:40 映画「水俣の甘夏」制作の背景を語る 柳田耕一

「水俣の甘夏」は水俣病患者支援組織の相思社の甘夏産直事業と除草剤使用問題を取り上げた映画である。当時、相思社の除草剤使用問題は購入側の生協や消費者団体を巻き込み、様々な議論を生み出した。柳田耕一氏は相思社初代事務局長であり、その渦中にいた。当時の時代状況を振り返りつつ、問題の本質を語る。

### 18:40—20:30 鼎談：柳田耕一×魚住道郎×徳江倫明

#### 次世代からの参加 木本一花

最後に魚住、柳田両氏、徳江に加え、次世代の代表として、有機農業体験農園を事業化し、新規就農者向けのアグリイノベーション大学校を運営するマイファーム株式会社執行役員の木本一花さんが鼎談に加わります。水俣病問題の教訓は彼女にどう伝わるのか、これからの取り組みにどうつながり、どう生かせるかを語ってもらおうと思う。

### 今後の開催予定

#### 「有機農業の原点を考え次世代に繋ぐセミナー」について

今年12月から1年間全12回、「有機農業の原点を考え次世代に繋ぐセミナー」という連続セミナーを開いていきます。日本に有機農業という言葉が生まれて45年が経過し、そろそろ有機農業、オーガニックというものに注目が集まり、メインストリーム化する兆しが見え始めました。戦後、近代化を支えてきた大規模化、効率化、均一化を基本にした「時代の価値観」も限界にきたようです。そして次の時代の価値観を構成する中に有機農業、オーガニックが息づき始めました。それを形にするのは次世代の若手(オーガニック3.0世代)です。彼らに1970年代から今日まで有機農業がどのように始まり、様々な取り組みの原点にあったものは何か、当事者(オーガニック2.0世代)の話しを聞き、時代を画した取り組みを一つ一つ掘り起こし、歴史をたどってみたいと思います。

そして次の世代とその歴史を共有し、そこにある優れた取り組みをさらに新しい形にし、広げてほしいと思います。オーガニック2.0の世代とオーガニック3.0の世代の1年間をかけた世代間の対話を作り出したいと思います。

是非、連続参加をお願いいたします。

スタートを「0回」として、「水俣病問題」を取り上げました。水俣病とはそもそも何だったのか、日本に有機農業が始まった原点として、なぜ水俣なのかを明らかにします今年12月を第1回目とし、12回を構成するテーマを挙げておきますが、変更もあります。これを取り上げるべきだということがあれば、ご提案ください。

- |   |            |
|---|------------|
| 1. 日本有機農業研究会の設立 「提携」                      | 2016年12月8日 |
| 2. 消費者自給農場運動 「たまごの会」                      | 1月         |
| 3. 運動と経済を車の両輪として 「大地を守る会」                 | 2月         |
| 4. 世界の有機農業運動の歴史 「国際有機農業運動連盟からオーガニック 3.0へ」 | 3月         |
| 5. 日本の消費者運動の歴史と有機農業                       | 4月         |
| 6. 産消提携 生活協同組合の歴史と有機農業                    | 5月         |
| 7. よつば牛乳共同購入運動からロングライフミルク反対運動             | 6月         |
| 8. 代案提示と食える市民運動 「日本リサイクル運動市民の会」           | 7月         |
| 9. 市民運動の洋上サミット「ばななぼうと」                    | 8月         |
| 10. フェアトレード「オルタートレードジャパン」                 | 9月         |
| 11. セット野菜による宅配事業 「らでいっしゅぼーや」              | 10月        |
| 12. NPO法の成立とNPOマネジメントの広がり                 | 11月        |